

清流の国ぎふ花き振興計画(第2期)(案) ～概要～



1 計画策定趣旨

この計画は、平成28年度からスタートした「清流の国ぎふ花き振興計画(第1期)」が、令和2年度で第1期を満了することに伴い、新たに第2期計画を策定し、本県の花き振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、基本的な事項を定めるものです。

2 計画の位置づけ

この計画は、花きの振興に関する法律の第4条及び花き振興条例第8条に規定する振興計画に位置付けられるものです。

3 計画期間

この計画は、令和3年度から令和7年度までの5か年を期間としますが、社会情勢の変化や施策の効果の点検・評価を踏まえ、随時見直しを行うこととします。

4 基本目標

『花で彩り心豊かな暮らしを育む「清流の国ぎふ」づくり』を基本目標とします。

5 目指す姿

産学官金連携コンソーシアム構築による花きの魅力発信と新たな需要創出

少子高齢化に伴う人口減少、ライフスタイルの変化などにより花きの需要が低下する中、花き業界の壁を越えた異業種業界と連携したコンソーシアムを新たに設立し、花に関する様々な情報発信や、消費者の購買意欲を高めるブランディングをすすめることにより、県産花きの魅力発信と新たな需要創出を目指します。

Withコロナ・Afterコロナ時代を見据えた花の活用促進

新型コロナウイルス感染症の拡大は、花き業界に大きな影響を与えた一方で、県民の生活様式を大きく変化させ、従来にないビジネスや新たな価値観を生み出していることから、Withコロナ・Afterコロナ時代を見据えた花の活用促進を目指します。

SDGsが目指す未来志向の社会における花と緑のまちづくり

本県では、令和2年8月に「岐阜県SDGs未来都市計画」を策定し、SDGsを原動力とした持続可能な「清流の国ぎふ」の実現に向けた取組みを推進しており、本計画においてもSDGsの理念や考え方の沿って、未来を見据えた花と緑のあふれる住みよいまちづくりを目指します。

6 5本柱と主な取り組み

花き文化の振興



ライフスタイルに合わせた花飾りを提案します

- 住宅メーカーと連携し、ライフスタイルに合った花の楽しみ方を提案します
- 花き文化団体による花飾り体験教室を開催し、県民の花文化への理解を促進します

若年層が親しめる花文化を普及します

- スポーツ感覚で楽しめる新たな花文化の一つとして「花いけバトル」を普及します
- 商業施設において、生活に身近な衣料・食料・雑貨売場等での花飾りを提案します

花の効果・効用を活かした花のある暮らしを提案します

- 住宅展示場やオフィス等において、花の癒しやリラックス効果などを体感できる空間のモデル展示を行います

園芸福祉の推進



福祉系大学等と連携した新たな園芸福祉活動を展開します

- 学生目線での園芸福祉を活用した地域振興や花き振興活動の展開を支援します
- 学生によるビジネス提案コンペティションを開催し、若い世代の活躍を促進します

園芸福祉サポーターの活躍の場づくりを支援します

- 新たな活動施設を掘り起こし、園芸福祉サポーターとのマッチングを支援します

花育の推進



家族で楽しめる花飾りを提案します

- 花育を学び、家庭でも花飾りを実践する生徒を「花育先生」として認定します
- クリスマス等に花飾りコンテストを開催し、家族で花を楽しむ機会を創出します

自治体と連携し花を通じた世代間交流や地域交流を推進します

- 農業祭や市町村イベントの機会をとらえて花育体験教室を開催します
- 花き文化団体を中心となり、地域と連携して行う花と緑のまちづくりを支援します

「(仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センター」を核に花き産業振興を図ります

○担い手育成の拠点施設を設けるとともに、他産業との連携を促進します

※「(仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センター」は担い手育成施設の運営と産学官金連携コンソーシアムの事務局を担う機関を新たに立ち上げます。

AIやIoTを活用した栽培技術の高度化と管理の省力化を図ります

○AIを活用した開花調整技術を開発し、年間を通して安定出荷が行える体制を整えます

○IoTを活用し、経験や勘に頼らない適時適切な管理を行う「スマート園芸」の導入を目指します

地球温暖化に対応した品種導入や栽培技術の開発を推進します

○温暖化に対応できるよう耐暑性、耐病性を持った品種の産地導入を推進します

岐阜県オンリーワン品種の育成しブランド化を図ります

○花き業界のトレンドを捉えたオリジナル品種の育成と産地への導入を推進します

SNS等を活用したマーケットインの商品開発を推進します

○産学官金が連携した「(仮称)ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」を構築し、マーケットインの商品づくりをはじめ、各種売れる商品づくりを推進します

○SNSを活用して県産花きの魅力を発信し、ネットコミュニティを構築します

○ECモールへの出展など、新たな販売チャンネルの開拓を支援します

担い手育成支援施設を整備し、花業界を支える中核的担い手を育成します

○「(仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センター」に「担い手育成支援施設」を整備し、技術力と経営能力を兼ね備えた産地を牽引する担い手を育成します。

国際園芸アカデミーによる園芸業界にはばたく人材の育成

○花き園芸業界で即戦力となる学生を輩出するため、教育内容の充実を図ります

○花フェスタ記念公園を学習フィールドとして活用した実践的教育を展開します

「(仮称)ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」を核とした需要拡大を促進します

- 業界の壁を越え産学官金が連携したコンソーシアムを構築します
- 各業界等が蓄積してきた技術や知見を相互に活用し、花きの需要促進を図ります



観光地や玄関口となる駅での県産花きの魅力を発信します

- 観光イベントや駅前において県産花きの花飾りを行い魅力を発信します
- SNSを活用し県内の花のスポットや花の見ごろ情報を発信します

地場産業（美濃焼や美濃和紙等）とコラボした商品づくりを推進します

- 新たな顧客を確保するため地場産業とのコラボ商品づくりを推進します
- 地場産業のイベント等において花飾り体験教室を開催し、県産花きへの関心を高めます

花と緑を活用した魅力的なまちづくりを推進します

- 造園業界と連携し、県産花きを活用した魅力的なまちづくりを推進します
- 花と緑を活用した癒し効果と利用満足度の高い公園整備を推進します
- 国際園芸アカデミーの学生が参画した花と緑のまちづくりを支援します



花のある暮らしを提案し花の活用を促進します

- 住宅メーカーのモデルハウス内で、ライフスタイルに合った花飾り提案を行います
- 住宅展示場やオフィスにおいて、花の効果・効用（癒し、リラックス、疲労回復効果）が体感できる空間づくりを支援します

7 推進体制

〔計画策定〕

花で彩る「清流の国ぎふ」推進本部
(本部長:知事)

県民会議

意見具申

清流の国ぎふ花き振興計画〔5本柱〕

花き文化の振興

- 1 花き文化の伝統継承
- 2 新たな花き文化の創造
- 3 花きの効果効用の普及

園芸福祉の推進

- 1 若年層への活動の普及・拡大
- 2 活動地域・施設の拡大

花育の推進

- 1 家庭での花飾りの推進
- 2 小中学校での花育の推進
- 3 地域における花育の推進

花き産業振興

- 1 高品質・安定生産の推進
- 2 花き品種等の研究開発の促進
- 3 流通・販売体制の強化
- 4 園芸を支える多様な人材の育成

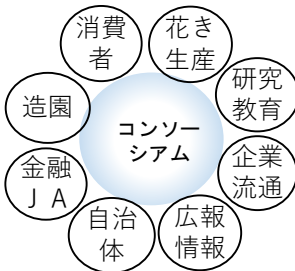
花き活用促進

- 1 地域資源を活用した花きの需要拡大
- 2 日常生活における花きの活用促進

花き振興施策の推進機関

産学官金が連携した「(仮称)ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」の新設

業界の壁を越えた花と緑の産業振興



- ・行政と企業が連携した産業振興事業の実施
- ・企業等のワーキンググループによる事業実施
- ・国際園芸アカデミーへの講師派遣
- ・国際園芸アカデミー学生のインターンシップ受入れ

「(仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センター」の設置

企業や大学等教育機関等と連携した担い手の育成と産業振興

- ・担い手育成支援施設の設置・運営(研修受入・研修計画策定・情報発信)
- ・コンソーシアム事業の運営支援(事務局)



〈担い手育成支援施設〉
技術力・経営力向上研修
新規就農・定年帰農支援
国際園芸アカデミー支援

「国際園芸アカデミー」における人材育成の強化

卒業認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)等3つのポリシーに基づく教育改革

- ・現場に直結した教育を行い、経営感覚に優れ、社会性と職業意識を身につけた人材を育成
- ・県民に向けて園芸技術の習得及び向上を図ることで、花と緑のまちづくりに寄与する人材を育成

8 これまでの取組みの様子



高校生花いけバトル「花きの日大会」



花きの日(8月7日)PR



園芸福祉活動



花のある暮らし提案



花育講座によるアレンジ作成



国際園芸アカデミー生産実習風景



フランネルフラワー
「ファンシーマリエ」



アキギリの鉢花用品種
「ミライパープル」

お問い合わせ先

岐阜県農産園芸課花き係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL. 058-272-8428 FAX.058-278-2692

E-mail c11423@pref.gifu.lg.jp